

1 単元 私たちの生活と政治

2 教科の目標

税金の集められ方や税金の使われ方などを理解し、消費税に対して考えをもつことができる。

3 活用したICT

コンピュータ 教材提示装置

4 活用したICTの工夫

- ・ 消費税8%になったタイミングで新聞とコンピュータを利用してコンテンツを視聴して租税の学習をすることによって、より興味深く学習を行える。(コンピュータ)
- ・ 学習した内容や思考の流れを示すワークシートを拡大して提示することによって、学級全体に共有することができる。(教材提示装置)

5 実践の様子

- ① 消費税について知るために、新聞や文献、NHK for School、10min. ボックス（公民）の租税の回を視聴した。それによって租税、特に消費税に対する知識をもった。(資料1)
- ② 消費税増税に対して賛成、反対など様々な意見があることを知った子どもは、インターネットと新聞を活用して消費税について調べ学習を行った。(資料2)
- ③ 子どもが調べた内容を基に、消費税に対する考えを一人一人がもった。
- ④ 子ども一人一人がもった消費税に対する考えに対して、賛成、反対などを色分けしたカードに記述した。(資料3)
- ⑤ 考えに対して良い意見が出たグループのワークシートを、教材提示装置を活用して学級全員に提示し、全員で思考を深めた。
- ⑥ 自分が調べた内容、友達からもらった意見を参考にして、再度自分の考えをまとめる。
- ⑦ 消費税に対する自分の考えを学級に発表する。



資料1 視聴した番組の一部



資料2 調べ学習をする子ども



資料3 子どものワークシートの一部

6 成果と課題

- 子どもの興味を引くタイミングで番組を視聴したことにより、通常見せる時よりも興味をもって視聴することができた。その結果、子どもの理解は深まった。
- 教材提示装置とプロジェクタによって学級全員に思考を共有することができた。その結果、学級全員が思考を深めるきっかけとなった。
- 学級で共有して思考を深めようと図ったが、一部の子どもには意図が伝わらず、思考は深まらなかった。どんな教材をどのようなタイミングで、発問はどうするかなど、さらに工夫していく必要があった。